

資料番号	7
------	---

令和4年6月9日
課 名 商工労働局
コロナ機動的経済支援プロジェクト・チーム
担当者 担当課長 三牧
内 線 3460

広島県経済の動向

令和4年6月9日

商 工 労 働 局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	県内小売業等の動向	4
1	百貨店・スーパー	
2	飲食	
3	観光	
IV	中小企業の動向	6
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
V	企業倒産状況	8
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
VI	最近の雇用失業情勢	9
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	3月	4月	5月
基調判断	景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる	景気は、持ち直しの動きがみられる
輸出	おおむね横ばいとなっている		
生産	持ち直しの動きがみられる		
設備投資	持ち直しの動きがみられる		
雇用情勢	感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる		持ち直しの動きがみられる
個人消費	このところ持ち直しに足踏みがみられる	このところ持ち直しの動きがみられる	
住宅建設	このところ弱含んでいる		おおむね横ばいとなっている
企業収益	感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している		

(2) 先行き

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、中国における感染再拡大の影響やウクライナ情勢の長期化などが懸念される中で、供給面での制約や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、感染症による影響を注視する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」（令和4年5月25日公表）】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R4年		
	3月	4月	5月
基調判断	サービス消費を中心に下押し圧力が続いているものの、緩やかな持ち直し基調にある	下押し圧力は残るものの、緩やかな持ち直し基調にある	下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直している
輸出	持ち直している		供給制約の影響から、持ち直しが一服している
生産	持ち直している		足もと供給制約の影響がみられているものの、全体としては持ち直している
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	一部に改善の動きがみられるものの、全体としてはなお弱い動きが続いている		
個人消費	持ち直しの動きはみられるが、サービス消費を中心に下押し圧力が強い状態にある	下押し圧力は残るものの、持ち直しの動きがみられている	下押し圧力は残るものの、持ち直しつつある
住宅投資	持ち直している	横ばい圏内で推移している	

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、感染症や供給制約などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和4年6月3日公表）】

Ⅱ 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和4年4月)

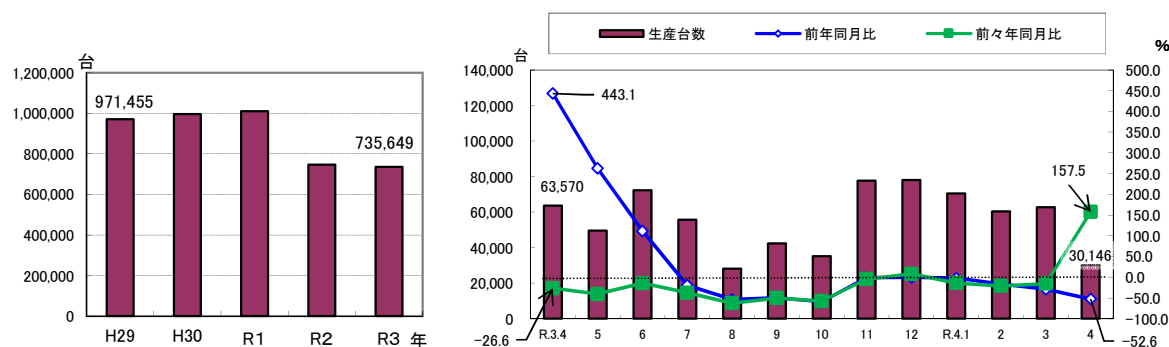
※広島県鉱工業生産・出荷・在庫指数の数値の精査に伴う掲載休止

2 自動車(令和4年4月)

4月の国内生産台数は30,146台で、前年同月比で52.6%減少、前々年同月比157.5%増加となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【マツダ(株)】



3 造船(令和4年4月)

掲載休止

4 一般機械(令和4年4月)

掲載休止

5 電気機械(令和4年4月)

掲載休止

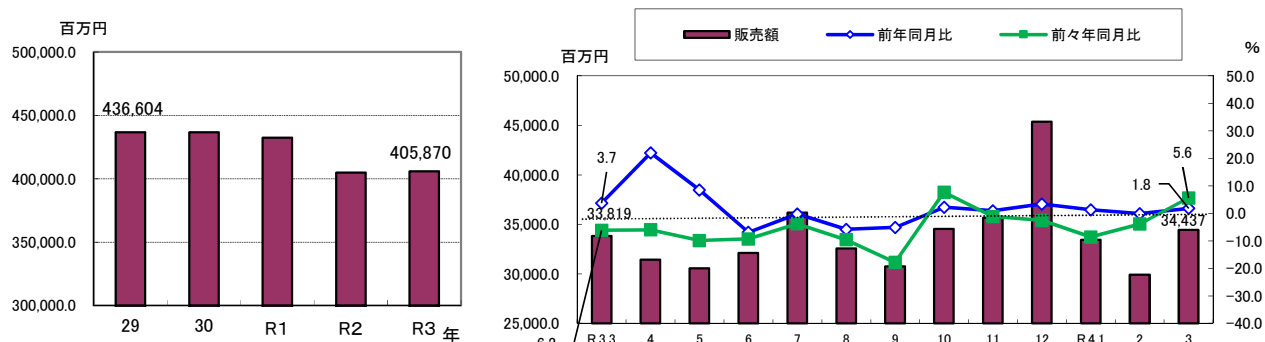
Ⅲ 県内小売業等の動向

1 百貨店・スーパー(令和4年3月)

広島県の3月の販売額は、34,437百万円(速報値)で全店舗前年同月比で1.8%増加、前々年同月比5.6%増加となっている。

中国地域百貨店・スーパー販売動向(広島県)(年別、月別・前年同月比・前々年同月比)

【中国経済産業局】



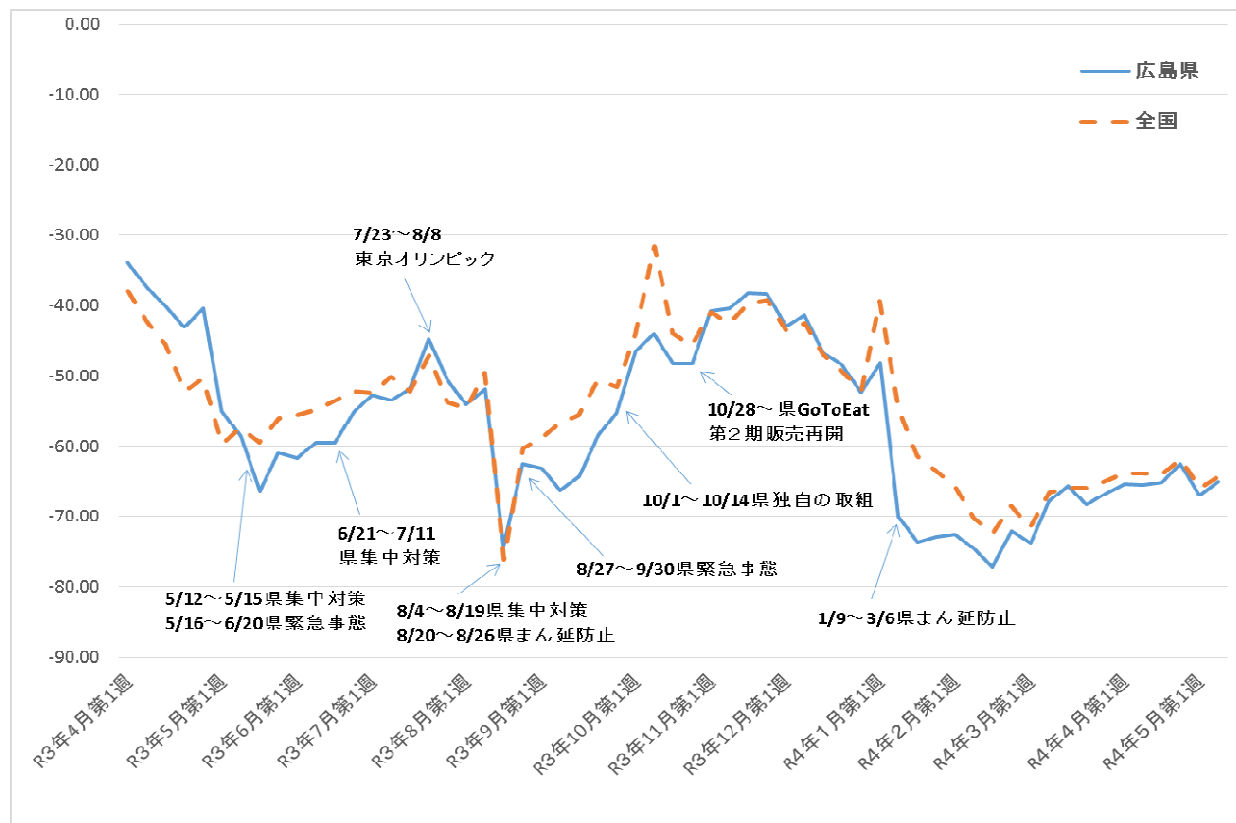
2 飲食(令和4年5月)

広島県の5月第2週の大手飲食店情報サイト閲覧数の令和元年同週比は65.13%減少となっている。

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局と内閣府地方創生推進室
V-RESAS (Retty株式会社 Food Data Platformより提供)

飲食店情報の閲覧数(広島県)(平成31年・令和元年同週比)

(データ更新日: 令和4年5月24日)



3 観光

(1) 宿泊客数(令和4年3月)

直近の数値である、令和4年3月の宿泊客数は、64.1万人で、前年同月と比べ11.2万人泊増（+21%）、令和元年同月と比べ37.7万人泊減（△37%）となっている。

【観光庁 宿泊旅行統計調査】

(万人泊)

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-3月計
広島県	R 4年宿泊者数	51.9	41.0	64.1	発表前									157.0
	R 3年宿泊者数	30.3	34.4	52.9	47.0	39.7	31.2	52.3	47.7	34.7	58.8	69.4	82.2	117.7
	R 3年比	171%	119%	121%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	133%
	R 元年宿泊者数	74.4	77.1	101.8	108.7	108.7	87.5	94.2	114.8	97.7	111.5	101.1	85.3	253.4
	R 元年比	70%	53%	63%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62%
全国	R 4年宿泊者数	2,844	2,328	3,346	発表前									8,517
	R 3年比	164%	132%	123%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	137%

※R 4年及びR 3年の数値は第2次速報値で、R 元年は確定値を反映。
R 4年及びR 3年の数値は、宿泊旅行統計調査の確定値公表時に置き換えるものとする。
なお、数値については、単位未満の端数処理を行っているため、表内で一致しない場合がある。

(2) 県内主要観光施設の観光客数(令和4年4月)

2月の観光客数は、まん延防止等重点措置の延長による外出削減要請や施設の休業などにより、前年同月から減少したが、3月には、同措置の解除による外出機運の高まりなどから回復傾向に転じた。
特に4月は、「やっぱ広島じゃ割」再開などから前年同月と比べると大幅に増加しているが、令和元年同月の水準と比較すると、依然として減となっている。

【各観光施設からの聞取調査】

(単位:人)

観光施設		R 元年			R 3年			R 4年		
		2月	3月	4月	2月	3月	4月	2月	3月	4月
広島平和記念資料館		61,240	128,610	180,830	7,037	34,249	20,158	休館	45,329	46,981
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	—	132%	233%
	R 元年比	—	—	—	11%	27%	11%	—	35%	26%
宮島来島者数		263,324	420,780	491,455	102,453	181,309	134,052	85,724	206,286	202,200
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	84%	114%	151%
	R 元年比	—	—	—	39%	43%	27%	33%	49%	41%
大和ミュージアム		50,317	77,507	80,697	12,871	29,025	21,415	3,647	32,197	37,521
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	28%	111%	175%
	R 元年比	—	—	—	26%	37%	27%	7%	42%	46%
道の駅たけはら		12,168	16,228	16,583	9,678	11,663	10,427	8,403	11,438	11,748
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	87%	98%	113%
	R 元年比	—	—	—	80%	72%	63%	69%	70%	71%
神楽門前湯治村（定期公演）		1,257	1,662	2,682	休演	休演	1,635	休演	休演	1,823
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	—	—	111%
	R 元年比	—	—	—	—	—	—	—	—	68%
千光寺ロープウェイ		26,607	51,124	65,850	12,233	30,851	22,619	11,722	36,594	49,293
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	96%	119%	218%
	R 元年比	—	—	—	46%	60%	34%	44%	72%	75%
福山市鞆の浦歴史民俗資料館		2,238	3,606	1,450	1,441	1,322	658	772	1,883	1,210
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	54%	142%	184%
	R 元年比	—	—	—	64%	37%	45%	34%	52%	83%
国営備北丘陵公園（千人）		8	19	46	16	23	47	8	23	42
	R 3年比	—	—	—	—	—	—	53%	101%	89%
	R 元年比	—	—	—	191%	120%	104%	100%	120%	92%

Ⅳ 中小企業の動向(令和4年4月)

【広島県中小企業団体中央会（令和4年5月15日時点）】

1 概況

まん延防止等重点措置が解除され1ヶ月以上が経過したものの、依然としてコロナ以前の状態へ回復する見込みは立っていない。さらに、慢性的な人手不足、海外情勢の影響によって引き起こされる、原材料価格の高騰や物流停滞による物資の供給不足など、多くのマイナス要因が重なり、様々な業種において先行き不透明感が強く、今後の需給動向をしっかりと注視していく必要がある。

また、自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比14.4%減少と10ヶ月連続での前年割れとなり、マツダ車では同14.8%減少となった。さらに、マツダ車の海外販売合計台数は前年同月比23.3%減少で、8ヶ月連続の前年比減となった。

加えて、木材業界では、全国住宅着工戸数は前年同月比6.0%増加したが、広島県内の着工戸数は前年同月比2.6%減少となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する
「生産・販売状況について（速報）」に基づく

2 景況感・景況感の変化

業種	3月の 景況感	4月の 景況感
食料品	やや悪い	やや悪い
繊維・衣服	普通	普通
木材	普通	普通
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	やや悪い	やや悪い
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	やや悪い	悪い
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	やや悪い	やや悪い
金属製品	やや悪い	悪い

業 種	3月の 景況感	4月の 景況感
一般機械器具	やや悪い	普通
電気機械器具	やや好況	やや好況
自動車部品	やや悪い	やや悪い
造船	やや悪い	やや悪い
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	やや悪い
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	3月	4月	増減
好況	0	0	0
やや好況	1	1	0
普通	3	4	1
やや悪い	15	12	▲ 3
悪い	1	3	2

3 前月(3月)から変化のあった主な業種

業種	3月の 景況感	4月の 景況感	変化の理由・状況
一般機械器具	やや悪い	普通	・ 期末（3月）での出荷増の反動により、前月比30%減少、前年同月比15%減少となった。また、工作機械の受注額は好調をキープしている。 【広島県東部機械金属工業協同組合】
プラスチック製品	やや悪い	悪い	・ 自動車関連では、中国のゼロコロナ政策で自動車部品が入荷後れとなった結果、4月は大幅な減産傾向。 ・ ロシアのウクライナ侵攻による原油高騰が原因となり、樹脂原材料等資材の価格が高騰している。 【広島県プラスチック工業会】

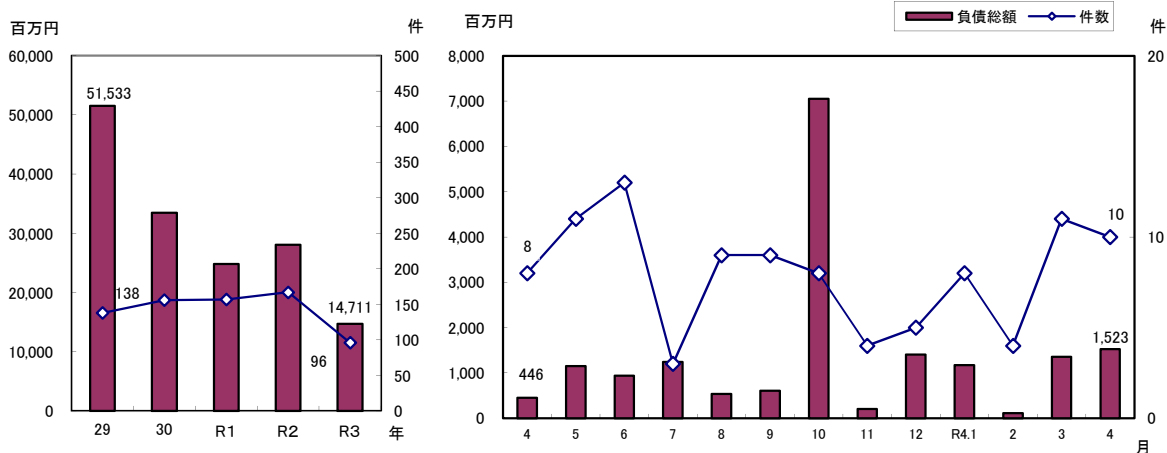
V 企業倒産状況(令和4年4月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が10件、総額15億2,300万円であった。
- ・前月比で件数は1件減少し、負債総額は1億7,000万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は2件増加し、負債総額は10億7,700万円増加した。
- ・大型倒産（負債総額10億円以上）は1件発生した。

区 分	令和4年2月	令和4年3月	令和4年4月
件 数 (前年同月比)	4件 (42.9%減)	11件 (37.5%増)	10件 (25.0%増)
負債総額 (前年同月比)	112百万円 (73.4%減)	1,353百万円 (660.1%増)	1,523百万円 (241.5%増)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が4件、サービス業が3件、建設業、運輸・通信業が各1件となった。

負債総額では、サービス業、卸・小売・飲食業、運輸・通信業、建設業の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が6件、シワ寄せが3件、他社倒産余波が1件であった。

4 今後の見通し

令和4年4月度の倒産件数は10件で、令和2年5月度以降24ヵ月連続20件以下と倒産は抑制された状態が続いている。しかしながら、前年同月比では2ヵ月連続の増加となり、倒産件数が前年同月比で連続して増加するのは、3ヵ月連続増となった令和2年8月度以来、20ヵ月ぶりで底打ちからやや増勢に転じ始めた様子がうかがえる。

広島県内の新型コロナウイルスの新規感染者数は「まん延防止等重点措置」などの各種対策効果などで令和4年2月以降は減少していた。しかし、人の動きも活発となる年度初めで、大型連休もあって、減少幅は鈍化し、5月8日の広島県新規感染者数は1409人とピーク時期に近い水準になってきており、今後の感染拡大状況によっては、経済活動の制限を余儀なくされる恐れが出てきた。

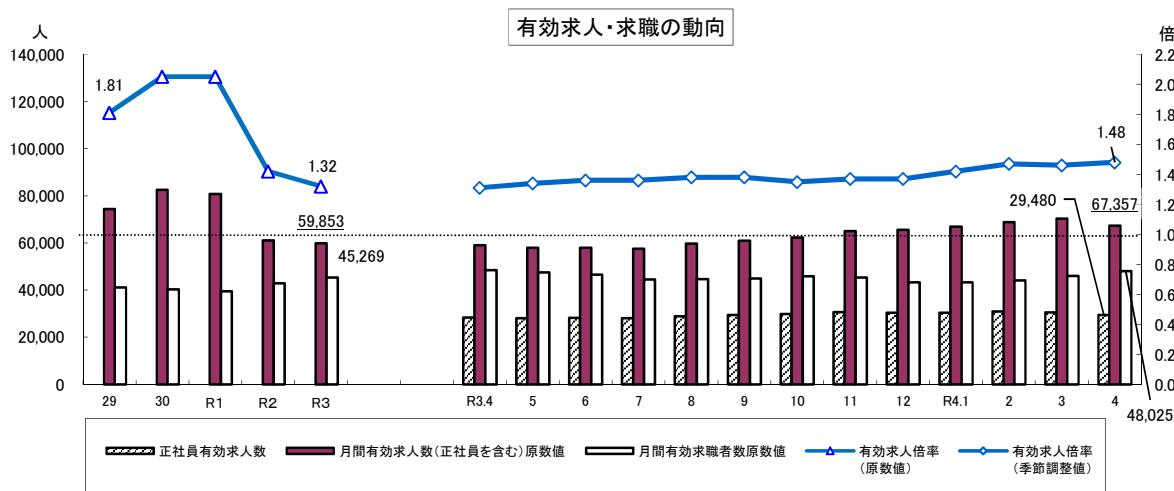
新型コロナウイルスの収束時期は未だ不透明で、影響が長期化していることに加えて、ロシアのウクライナ侵攻による不安定な世界情勢の影響等もあって各種商品の値上げや調達難の状況は続き、中小・零細企業の多くは経営体力が疲弊してきている。このような中、新たな資金調達や過剰債務の解消が急務となっているが、債務軽減は容易でなく、体力が限界に達した中小・零細企業の息切れ倒産が押し上げる形で、今後、倒産件数が増加傾向となっていく可能性が高まっている。

VI 最近の雇用失業情勢(令和4年4月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和4年2月	令和4年3月	令和4年4月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.47倍 (+0.05ポイント)	1.46倍 (▲0.01ポイント)	1.48倍 (+0.02ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.17倍 (+0.13ポイント)	1.11倍 (+0.08ポイント)	1.06倍 (+0.06ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

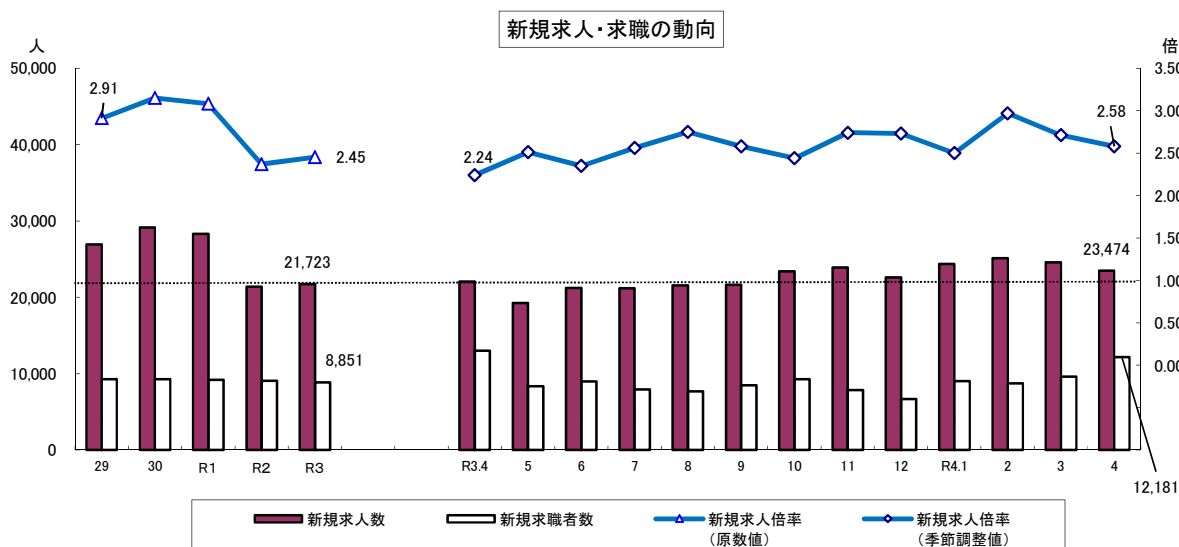
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和4年2月	令和4年3月	令和4年4月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.97倍 (+0.47ポイント)	2.71倍 (▲0.26ポイント)	2.58倍 (▲0.13ポイント)

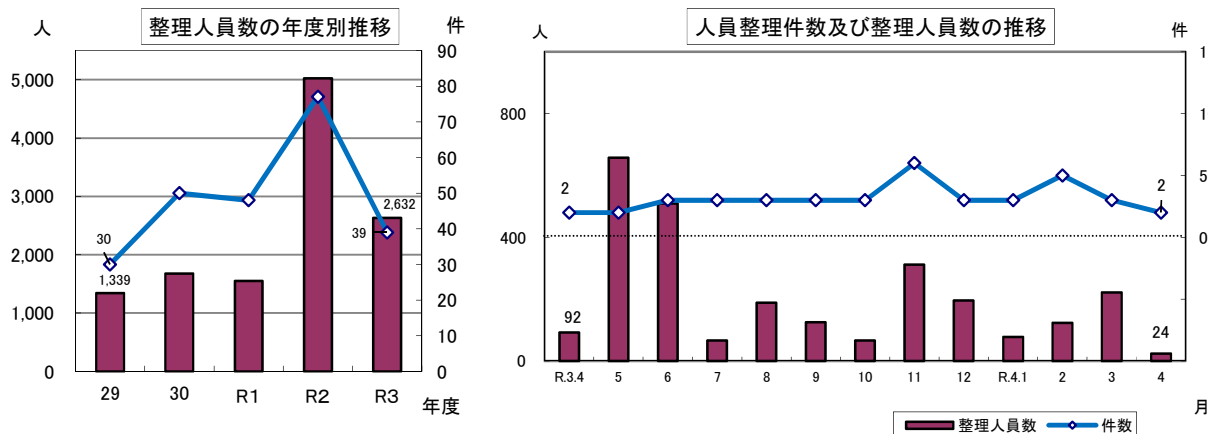
【広島労働局】



(注) 令和3年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和4年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区 分	令和4年2月	令和4年3月	令和4年4月
件数 (前年同月比)	5件 (▲ 5件)	3件 (▲ 5件)	2件 (+ 0件)
整理人員 (前年同月比)	123人 (▲ 2,064人)	221人 (▲ 220人)	24人 (▲ 68人)

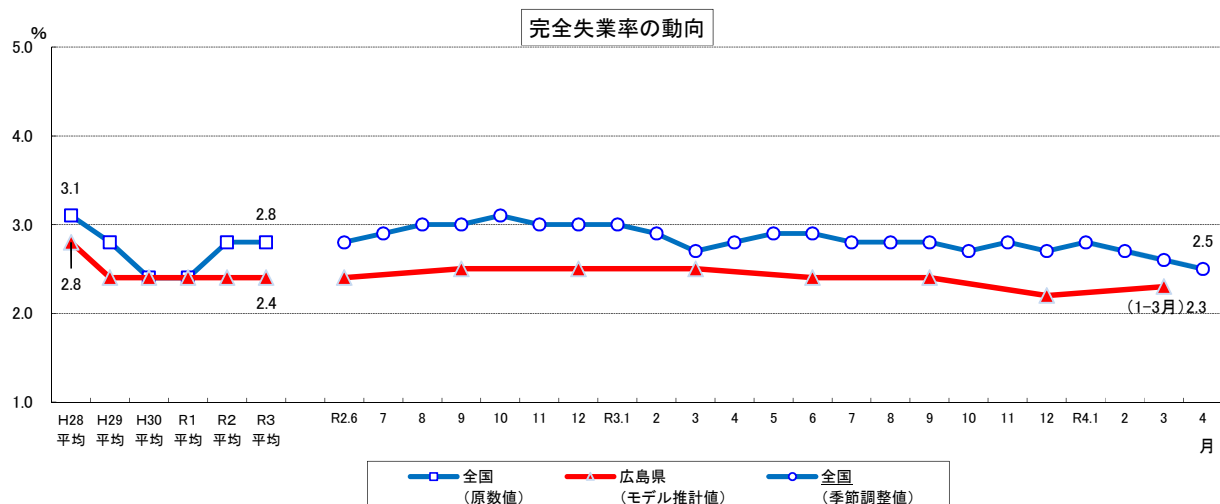


4 完全失業率の状況

区 分	令和4年2月	令和4年3月	令和4年4月
全国完全失業者数 (前年同月比)	180万人 (▲15万人)	180万人 (▲9万人)	188万人 (▲23万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.7% (▲0.1ポイント)	2.6% (▲0.1ポイント)	2.5% (▲0.1ポイント)

区 分	令和3年		令和4年
	7～9月平均	10～12月平均	1～3月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.2% (▲0.3ポイント)	2.3% (▲0.2ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。